

学校給食で、ほたしも元気いっぱい



▲みんな、「おいしーい!!」

先月号でもお知らせしましたが、村では平成五・六年度の二か年にわたり、日
本体育・学校健康センターの委嘱を受け「学校給食における学校・家庭・地域連
携推進事業」に取り組んでいくことになりました。
そこで今月号では、学校給食の歴史や今回の事業の内容等についてご紹介した
と思います。

学校給食の歴史

我が国の学校給食は、明治二十二年に山
形県鶴岡町の私立忠愛小学校で行われたの
がその始まりと言われています。そして、
昭和二十九年には「学校給食法」が制定さ
れ、以来着実に制度上の整備が進められて
きました。

平成三年五月一日現在、全国の小・中学
生一三、九八七千人の内一三、二六四千人
(九四・八%)の児童・生徒が、学校給食を
受けており、学校教育における重要な教育
活動として定着しています。

また、昭和五十一年には米飯が導入され、
米飯に適した献立といった工夫が図られる
とともに、食堂・ランチルーム等の環境の
整備も進められています。当村においても
現在建設中の岩室小学校に、食堂棟が併設
される予定です。

学校給食の重要性

学校給食が始まった当初は、栄養失調の
状態の子も多く、学校に弁当を持たせ
られない家庭が多い、というのが実情でし
た。

しかし、「飽食の時代」と言われるくらい
物質的に豊かな社会となった現在、偏った
食事内容からくる栄養のアンバランスが、
成人病の低年齢化や肥満児童の増加といっ

た別の問題を生み出しています。
平成四年度に実施した「母と子のスリム
教室」での食事調査の結果を見ると、
①主食、主菜、副菜がそろっていない食事
が見られる。②魚、野菜の摂取が少ない。
③油を使った料理が多い。④糖質、脂質が
多い。⑤間食が多い。⑥一日に食べる食品
の種類が少ない。
などの傾向が見られました。
こうしたことから、栄養面で十分配慮
がなされている学校給食の重要性が見直さ
れており、その内容の一層の充実、発展が
求められています。



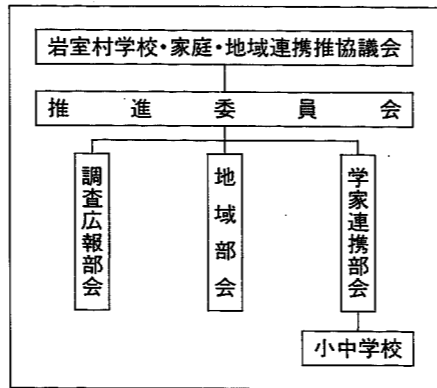
▲月に1回の給食会。調理員さんと「いただきま〜す」

連携推進事業の内容

この推進事業は、「ごはんを中心とした食
事を通して、丈夫な体づくりに意欲的に取
り組む児童・生徒の育成」を目指して、学
校・家庭・地域が連携して取り組んでい
くというものです。

- この事業は、
- ①学校・家庭・地域が連携する中で、健康の保持増進のための主食・主菜・副菜のそ
ろった食事づくりを進める。
 - ②食事を通して、明るい社会性や好ましい
人間関係を育てる。
 - ③岩室村の郷土料理や家庭での伝承料理を
通して、地域の食文化・地場産物を見直す
とともに、学校給食へも取り入れる。
ことを基本方針とし、下図の組織を構成し
て、より良い学校給食づくりを目指します。

〔組織図〕



〔学家連携部会〕

「学校給食が児童・生徒の心身の発達に
及ぼす影響の大きさを踏まえて、給食指導
計画の見直しや家庭での食生活改善を通し
て心身ともに健康な児童・生徒を育てる」
ことを目指します。

そのため、給食指導の充実を図ったり、
親子料理教室や収穫祭・交流給食等を実施
して、給食への理解を深めたりします。

〔地域部会〕

栄養バランスのとりのやすい「ごはん」を
中心とした日本型食生活の良さを、学校給
食を通して地域全体から見直してもらおう
と、地域の人たちとの交流を図ります。

各種の料理教室を開催したり、農業祭時
に「学校給食コーナー」や「郷土料理・伝
承料理コーナー」を設け、地域の人にも学
校給食に関心を持ってもらいたいと思いま
す。また、給食の「試食会」を開催して、
地域の人も学校給食への理解を深めても
らいたいと思います。

▼いつもおいしい給食を作ってくれる調理員さん



〔調査広報部会〕

家庭、地域の食生活等の実態を把握し、
地域全体の課題としてとらえて検討してい
きます。また、学校給食について、地域の
方からの理解を得られるよう広報活動を行
います。

例えば、今月中には食生活等実態調査を
実施し、家庭における食生活等の実態や学
校給食に対する意識について把握したいと
思っています。児童・生徒のいる家庭の皆
さん、学校を通じて調査表が配付されると
思いますのでご協力ください。その結果を
活用して、学校給食の充実に努めます。

また、「広報いわむろ」や「学校だより」
により、事業の進行状況や活動内容等を、
随時皆さんにもお知らせします。

現在、「給食センターの一日」を特集した
ビデオを制作中です。文化祭等の機会を利
用して、皆さんにもご覧いただきたいと思
っています。



▲給食センターでの試食会

ついでに、
子どもたちの健全な発育のため、皆さん
もご協力ください。



推進協議会長
教育長 成田忠雄

岩室村は、平成五・六年
度の2年間、日本体育・学
校健康センターの委嘱を受け、「学校給食における学校
・家庭・地域の連携推進事
業」への取り組みを始めま
した。

学校給食は、児童・生徒
の心身の健全な発達に資することを目的に、「学校
給食法」に基づいて実施されているものです。村
内の小・中学校でも、当初のミルク給食から、施
設の整備とともに完全給食に移行し、現在に至っ
ています。

また、記憶されている方も多いと思いますが、
昨年6月、埼玉県庄和町が学校給食全面廃止の方
針を打ち出し、その是非をめぐる全国的な論争
が巻き起こりました。論争の中心は、学校給食は
単なる食事の提供か、教育の大事な内容かに絞ら
れるようです。結論的には廃止方針が撤回されま
したが、学校給食についての世の関心を大いに高
めました。

今回の連携推進事業委嘱を契機に、村内関係各
位の英知を集め、本来の趣旨に沿う運営になるよ
う学校給食の充実に努めていきたいと考えていま
す。皆さんのご協力をお願いいたします。